

令和4年度おおさか環境デジタルメディアコンテスト入賞作品一覧

デジタルポスター部門受賞作品

サイネージ形式（7作品）

賞名	作品	作品タイトル	名前	作品説明
最優秀賞 デジタルポスター部門		地球を救うエネルギー	新本 万梨亜	CO2排出量の削減のために誰もが簡単にできることを4つピックアップし、明るく描くことで、みんなの一つ一つの行動が地球の環境をよりよい方向へ変えていくことができるというメッセージを込めました。
優秀賞		水の都が…	市田 隆庸	温暖化が進み、住み慣れた街が水没するかもしれない。なんで？と考えることで、脱炭素化に関心で何もしないと大変なことになるということに気づいて欲しい。
優秀賞		絶滅危惧種	石川 美南	最近、絶滅危惧種はものすごいスピードで増加していて、その中には、動物園や水族館でよく見ている身近な生き物がある事を皆様に知って頂き、自分達が今何をできるか考えて欲しいと思い、この作品を作りました。
優秀賞		エコカエル俳句	木村 ありす	プラスチック容器のゴミ削減についての呼びかけを老若男女に馴染みやすい俳句で表現してみました。地球が若“ガエル”ように心を込めて詠みました。
優秀賞		A helping hand	野間 夏美	プラスチックゴミにより汚染された海を、溺れた人が助けを求め手に見立て、海がプラスチックごみに飲まれ溺れているようにイメージしました。見た人が画面下部を見て危機感を感じるように意識して描きました。
大阪産（もん）賞		マイ美学	大坪 さくら	啓蒙ポスターには人々を批判する内容もありますが、それでは反感を抱く人も多いのではないのでしょうか。『環境に配慮してもお洒落な自分』を演出し、気持ち良く行動に移してもらえるようなポスターを考えました。
大阪産（もん）賞		脱炭素社会へ。CO2排出量の実質ゼロを目指そう！	新谷 ひかる	気候変動や、温室効果ガスなどによって受けた影響を下に描き、それにより排出されたCO2を、吸収するものを上に描くことでカーボンニュートラルを実現しました。

ビジョン形式（7作品）

賞名	作品	作品タイトル	名前	作品説明
優秀賞		使っていないコンセントを抜こう！	岩崎 珠唯	使用していないコンセントを抜くことで、1世帯あたりで待機電力を年間約49%削減することが出来る。二酸化炭素の排出量も年間約69kg削減することができ、ほんの少しのコンセントを抜くという行為が地球環境を守ることに繋がる。
優秀賞		氷上の住処	寺岡 凛	海上に浮かぶ氷山が地球温暖化によって少なく、砕けていくことで3LDKだった豪華なペンギンの住処がもの数分で一匹立っているのも難しい住処に変わってしまった。ペンギンが悲観している。人に住処が快適になるのにつれ、その裏で犠牲になる生物がいると言う事を描いたポスター。
優秀賞		食のライフ	杉本 真希	食材を買うとき無意識に陳列棚の奥の方から取っていないだろうか。手前に並ぶ食材の消費期限が迫り、廃棄されるかもしれない様子をゲームのライフゲージに例えて表現した。
大阪産（もん）賞		「一度手に取り、考えて」	静 龍馬	サイトの説明を見て、産地等を気にするのはスーパーが一番に思い浮かんだのでスーパーの陳列棚から商品を手に取っているようなイメージで制作しました。
大阪産（もん）賞		シロクマの思い	笠松 愛理	温暖化によって氷山が溶けて居場所が失われてしまったシロクマの悲痛な思いを表しました。
大阪産（もん）賞		目をそらし続けた海のゴミ	山本 楓子	大きなクジラが泳いでいるように見えますが、よく見るとゴミが集まってクジラの形になっているだけで、今までゴミの問題と向き合えていなかった人たちに向けて描きました。
大阪産（もん）賞		地球のバッテリー、使いすぎいませんか	坂口 真柚	スマホのバッテリーが消費する様子を地球の環境が徐々に汚染されているように描きました

動画部門受賞作品（2作品）

賞名	作品	作品タイトル	名前	作品説明
最優秀賞 動画部門		皆で節電	井上 小太郎	ひとりひとりが節電を意識することの重要性をテンポよく耳に残るよう意識しました。
優秀賞		父と娘の話	東川 薫	父親が急に地球環境に目覚めた！「ブラを銜えた魚を見た」という話しをする。

写真部門受賞作品（1作品）

賞名	作品	作品タイトル	名前	作品説明
最優秀賞 写真部門		お掃除中	河合 都章	大阪市は川を掃除する船があるんですね。いつもキレイなわけがわかりました。

団体賞（2校）

大阪芸術大学、三重県立名張青峰高等学校